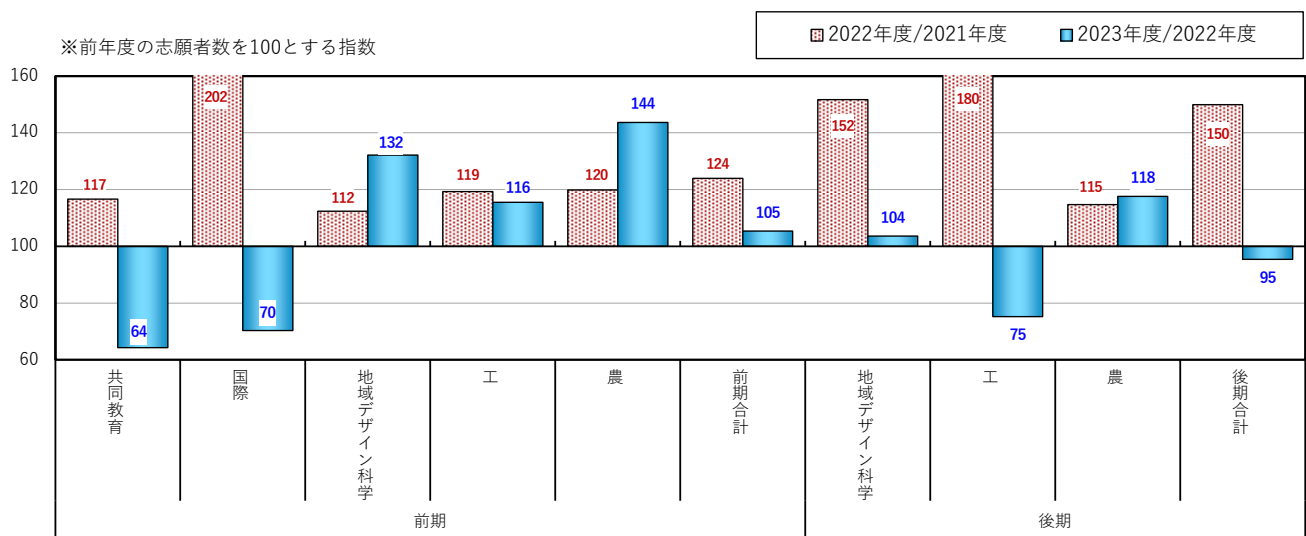


宇都宮大：前期はやや増加、後期はやや減少

前期：+78人 後期：-29人



主な入試変更点	<p>共通テスト：地域デザイン科学(社会基盤デザイン)<前>…理の配点変更 国<200>+歴公<100>+数2<200>+理2<200>+外<200>=総点<900> ※理：物<100>+(化 or 生 or 地学)<100> →国<200>+歴公<100>+数2<200>+理2<300>+外<200>=総点<1,000> ※理：物<200>+(化 or 生 or 地学)<100> <後>…数と理の配点変更 国<200>+歴公<100>+数2<200>+理2<200>+外<200>=総点<900> ※理：物<100>+(化 or 生 or 地学)<100> →国<200>+歴公<100>+数2<300>+理2<300>+外<200>=総点<1,100> ※理：物<200>+(化 or 生 or 地学)<100> 個別試験：地域デザイン科学(社会基盤デザイン)<前>…数<300>+理<200>→数<500></p>
----------------	--

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前期は78人(105)のやや増加で2年連続増加。学部別では、農(144)、地域デザイン科学(132)、工(116)はいずれも大幅増加。一方で、共同教育(64)、国際(70)は大幅減少と分かれた。後期は29人(95)のやや減少。学部別では、農(118)は大幅増加。一方で、工(75)は大幅減少。

- <前期日程>
- 共同教育(64)は、2020年度の学部改組以降2年連続大幅増加の反動で大幅減少。系別では、(学校教育教員養成/教育人間科学)(52)は前年度倍増以上の反動でほぼ半減、(学校教育教員養成/人文社会)(64)、(学校教育教員養成/芸術・生活・健康)(68)、(学校教育教員養成/自然科学)(75)はいずれも大幅減少。
 - 国際(70)は、前年度倍増以上の反動で大幅減少。2017年度以降前年度の反動による増減が継続。
 - 地域デザイン科学(132)は、大幅増加で2年連続増加。学科別では、全学科大幅増加で、特に、入試変更がなかった(建築都市デザイン)(145)の大幅増加が目立った。
 - 工(116)は、2年連続大幅増加で、志願者数は5年ぶりに500人を上回った。
 - 農(144)は、系統への高い人気もあり2年連続大幅増加。学科別では、全ての学科で増加。(農業環境工)(169)、(応用生命化)(167)、(生物資源科学)(162)、(森林科学)(120)はいずれも大幅増加、(農業経済)(102)は微増。

- <後期日程>
- 地域デザイン科学(104)は、やや増加で2年連続増加。学科別では、(社会基盤デザイン)(191)は2年連続大幅増加、(建築都市デザイン)(109)は増加。一方で、(コミュニティデザイン)(74)は大幅減少で、志願者数は3年ぶりに100人を下回った。
 - 工(75)は、2年連続大幅増加の反動で大幅減少。志願倍率も6.4倍→4.8倍にダウン。
 - 農(118)は、系統への高い人気もあり3年連続大幅増加。学科別では、(農業環境工)(143)は3年連続大幅増加、(生物資源科学)(126)は大幅増加で3年連続増加、(応用生命化)(116)は2年連続大幅増加。一方で、(農業経済)(84)は大幅減少で2年連続減少。